

樋口紀美子ピアノリサイタル

シューマンと乾 春男

2026.4/9(木)
19:00開演(18:30開場)Thursday, April 9 19:00pm
Tokyo Hamarikyū Asahi Hall
 浜離宮朝日ホール

地下鉄大江戸線「築地市場駅」A2出口すぐ 朝日新聞社新館2F

Haruo Inui

Robert Schumann

プログラム

シューマン Robert Schumann(1810-1856)

子供の情景 Op.15 Kinderszenen Op.15

交響的練習曲 Op.13 Etudes symphoniques Op.13

乾 春男 Haruo Inui(1929-1949)

プレリュード 変ロ長調 Prelude "Con moto" B-Dur

ペルソナ Persona

ノヴェレッテ Novelette

ピアノソナタ Piano Sonata

全自由席

一般 ¥5,000(学生券 ¥3,000) (税込価格)

■チケット前売所

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:317029)Teket(電子チケット) <https://teket.jp/>ミリオンチケット <http://millionconcert.co.jp>

(ウェブサイトからのお申込はセブンイレブンでチケットをお引き取りいただけます)

■後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

昭和音楽大学、日本アルバン・ベルク協会

■コンサートマネジメント：ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

樋口紀美子の弾く
シューマンの
ピアノ協奏曲！

「シューマンとブルックナー」2026年8月9日(日) 19時開演 サントリーホール

シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品54 (独奏：樋口紀美子)

ブルックナー：ミサ曲 第3番 ヘ短調 WAB28

樋口隆一(指揮)／N響団友オーケストラ(管弦楽)／明治学院バッハ・アカデミー合唱団(合唱)

マネージメント・お問合せ：AMATI TEL 03-3560-3010

樋口紀美子 (ピアニスト)



photo ©Studio CAC

6歳より母の手ほどきでピアノを始める。藤田晴子、田辺緑、岡部守弘、永井進、神西敦子、K.ヘルヴィツ、H.E.リーベンザーム、G.アゴ스티、H.C.ステファンスカ、W.ブランケンハイム、ディノラ・ヴァルジの各氏に師事。1974年渡独。エッセン国立音楽大学、ベルリン芸術大学、ザールブリュッケン国立音楽大学演奏家コース卒業。

1977年、イタリアのフィナーレ・リグレ国際ピアノコンクールにて3位入賞。以来、ドイツ、スイス、イタリア各地で数多くのリサイタルを行う。1980年スイスのルガノ国際ピアノコンクール「スケルツォ特別賞」。1981年より一時帰国しては東京にて15回のピアノリサイタルを開催。「音楽芸術」「音楽の友」「ムジカノーヴァ」「ショパン」各誌で高い評価を得る。1985年東京交響楽団とラフマニノフの協奏曲第2番を共演。1993年10月にはマラー《大地の歌》ピアノ版を邦人ステージ初演し、「音楽の友」のコンサート・ベストテンにノミネートされるなど絶賛を博す。1988年よりベルリンのフィルハーモニー、カンマームジークザールを中心に9回のリサイタル(ハンス・アードラー主催)で成功を収め、ベルリン・ピアノ界の常連としての地位を確立した。1993年の演奏会はベルリン最大有力紙「デア・ターゲス・シュピーゲル」の批評欄で「微笑む理性」と絶賛された。1994年9月、イタリアのシチリア島におけるイブラ・グランプリ国際ピアノコンクールでプロフェッショナル・ピアニスト部門入賞。1997年リスト・プログラムでCDデビュー、好評を博す。ピアノ教育者としては、ドイツ青少年コンクール、ベルリンとハンブルクのスタインウェイ・ピアノコンクール、ケーテンのバッハ・ピアノコンクールなどで常に上位入賞者、オーケストラとの再度にわたる共演者を出すなど異例の成功を収め、高い評価と注目を集めている。ベルリン教会音楽大学ピアノ科講師、ベルリン市立音楽学校ピアノ科および室内楽科講師などを歴任。ピティナ・ピアノコンペティション、ベルリン・スタインウェイ・ピアノコンクール審査員。2005年よりドイツ音楽芸術家連盟ベルリン正会員。2007年7月、33年のドイツ滞在を終えて帰国。2008年6月、浜離宮朝日ホールでの帰国記念リサイタルを機に、オーケストラとの共演、日本各地でコンクールの審査、講演、公開レッスン、演奏活動を活発に展開している。現在昭和音楽大学・大学院講師。

2012年帰国後初のCD「ドビュッシー：12のエチュード全曲」、2014年ショパンプログラムによる「ノアの思い出」、2017年「ショパン：練習曲集作品10、夜想曲選」、2018年脇岡洋平との共演「ドビュッシー：2台ピアノのための3つのオーケストラ作品」、2021年「J. S. バッハ：インヴェンションとシンフォニア」、2024年 樋口紀美子が弾く「英雄ポロネーズ」をリリース。「レコード芸術」「音楽の友」「ぶらあほ」など各誌で絶賛を博す。

乾 春男 (作曲家) 1929~1949 HARUO INUI

日本近代音楽史における伝説的存在である。20歳のクリスマス・イヴに多摩川に身投げして自死した。東京音楽学校作曲家に在学していたとはいえ、すでにほとんど独学で作曲することができた乾の作品には、まごうかたなき独自の美の世界が確立されている。その年の11月1日、日本現代音楽協会の第1回現代音楽試演会で演奏されたデビュー作《ピアノ・ソナタ》は、「現代音楽を生まれながら知る天才」と絶賛されたという。樋口紀美子は乾の姪にあたる。

前回ご好評いただいた
オンデマンド配信を今回も行います！
リサイタルの映像を期間限定でお届け！

■ご購入はこちら➡

配信：ABEAR 合同会社アベア

チケット料金：¥3,000 (税込・手数料別)



樋口紀美子

ピアノ



乾春男(樋口隆一・紀美子の母の弟)は、1949年のクリスマス・イヴの日に20歳で自らの命を絶った。安川加寿子は「ベルソナ」を愛奏し、1950年に初演している。

録音：2025年9月18日、19日
三鷹市芸術文化センター「風のホール」
NF25707 定価：3000円+税

ベルソナ——乾春男の肖像



ドビュッシー：12のエチュード ショパンの思い出のために

録音：2012年3月12日、13日 浜離宮朝日ホール(東京)
MF25701 定価¥2,800(税込)

ドビュッシー
生誕
150年記念



ショパン～「ノアの思い出」

ピアノ・ソナタ 第3番 短調 作品58
ノクターン第15番 短調 作品55作品の1
スケルツォ第4番 長調 作品54
子守歌 変ニ長調 作品57 / 3つのマズルカ 作品59
録音：2014年3月25日、26日 浜離宮朝日ホール(東京)
MF25702 定価¥2,800+税

レコード
芸術誌
準特選盤



ショパン：エチュード作品10 / ノクターン選

エチュード 第1番～第12番
夜想曲 第4番 / 第5番 / 第6番 / 第16番 / 第20番
録音：2016年4月11・13日、12月9日 川口リリア「音楽ホール」(埼玉)
MF25703 定価¥2,800+税



樋口紀美子、脇岡洋平(ピアノ) ドビュッシー：2台ピアノのための 3つのオーケストラ作品

「牧神の午後への前奏曲」「夜想曲」「海」
録音：2018年5月24日、25日 所沢市民文化センター ミュース・アークホール(埼玉)
MF25704 定価¥2,800+税

ドビュッシー
没後
100年記念



J. S. バッハ： インヴェンションとシンフォニア

15 インヴェンション / 15 シンフォニア
録音：2020年6月10日、11日 川口リリア「音楽ホール」(埼玉)
MF25705 定価¥2,800+税

レコード
芸術誌
特選盤



樋口紀美子が弾く「英雄ポロネーズ」

ショパン：
ポロネーズ 第6番「英雄」 / 第7番「幻想」、バラード 第3番
夜想曲 第13番 / 第14番 / 第17番 / 第18番
録音：2023年10月2日、3日 川口リリア「音楽ホール」(埼玉)
MF25706 定価¥3,000+税



録音・制作：N&F Co., Ltd. Tokyo
販売元：ユニバーサルミュージック合同会社 IMS

